

News Release

News Release

平成 23 年 4 月 21 日
日本 C C S 調査株式会社

苫小牧地区 調査井追加掘削について

当社は、経済産業省からの委託により、地球温暖化対策に対する革新的な技術として期待されているCO₂回収・貯留（CCS）の大規模実証試験の候補地選定のための調査作業を実施しております。

北海道苫小牧市におきましては、地元関係者のご理解と多大なるご協力を戴きまして、苫小牧港沖合いでの三次元弾性波探査（2009年10月から11月および2010年7月から9月の2回実施）と調査井掘削（2010年7月から2011年3月、垂直深度3,050m）による地質調査を実施いたしました。これらにより苫小牧地区で有力候補としていた貯留層（火山岩類）とそれを覆う遮蔽層（泥質岩）の広がり性状が明らかになりました。加えて、深度1,100m付近の砂礫岩層が貯留層として非常に良好であることが判明しました。

このため、平成23年度の調査作業として、深度1,100m付近の砂礫岩層とそれを覆う遮蔽層のコア試料採取を目的とした調査井の追加掘削を下記のとおり予定しておりますので、お知らせいたします。

記

【調査井追加掘削の概要】

- 1 目的 深度1,100m付近の貯留層（砂礫岩層）および遮蔽層（泥質岩層）のコア試料を採取します。コア試料の分析により、貯留層と遮蔽層の地質データを取得します。
- 2 場所 苫小牧市汐見町地先 苫小牧港西港区土砂処分場内（前回実施した調査井と同一敷地内）
- 3 掘削深度 目的地層深度1,200m（垂直井）
- 4 調査スケジュール
 - ・敷地工事、準備・設置工事 4月中旬～5月上旬
 - ・掘削工事 5月上旬～6月下旬
 - ・解体・撤去・敷地復旧 6月下旬～7月中旬
- 5 掘削後の調査井の取り扱い
坑内をセメントで完全に埋め立てて廃坑します。

(注) CCS : Carbon dioxide Capture and Storage
二酸化炭素を分離・回収し、地中に貯留する技術

以 上

【添付資料】

CCS実証試験地選定のための苫小牧地区調査井追加掘削について

CCS実証試験地選定のための苫小牧地区調査井追加掘削について

平成23年4月
日本CCS調査(株)

I. CCS実証試験地選定のための苫小牧沖地区の地質調査について

地球温暖化への有効な対策のひとつとして、二酸化炭素回収・貯留（CCS*）が注目されており、その実用化に向けて、早期に実証試験を行うことが必要となっています。

弊社は、この実証試験地選定のための調査を経済産業省からの委託事業を通じて実施してまいりました。

* CCS : Carbon dioxide Capture & Storage

苫小牧沖地区は、周辺の長年にわたる石油・天然ガス開発の探査作業を通じて、地下の地質構造形態が把握されており、CCS実証試験の有力候補地として、二酸化炭素を貯留できる可能性がある複数の地層（深度約1,100m～3,000m付近）の存在が確認されておりました。

実証試験において二酸化炭素を長期に安定して地層に貯留するためには、詳細な地質データを取得する必要があります。苫小牧地区の広い範囲を対象とした三次元弾性波探査（2009年10月から11月および2010年7月から9月の2回実施）と深度3,000m付近の火山岩類を主な対象とした調査井CCS-1（2010年7月から2011年3月に実施）による地質調査を実施いたしました。これらにより苫小牧地区の貯留層の有力候補としていた火山岩類とそれを覆う遮蔽層（泥質岩）の広がりや性状が明らかになりました。加えて、深度1,100m付近の砂礫岩層が貯留層として非常に良好であることが判明しました。このため平成23年度の調査作業として、深度1,100m付近の砂礫岩層とそれを覆う遮蔽層のコア試料採取を目的とした調査井CCS-2を調査井CCS-1と同一の敷地より追加掘削することとなりました。

なお、最終的な実証試験地については、各候補地点の地質データ等を総合的に評価し、経済産業省において選定される予定です。

II. 苫小牧沖地区における調査井追加掘削について（経済産業省の委託事業として実施）

CCS実証試験地選定のための調査として、苫小牧地区における調査井追加掘削作業を以下の通り実施したいと考えておりますので、何卒、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- (1) 調査井位置
北海道苫小牧市西港区土砂処分場内
（国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部所管）

- (2) 調査範囲
①掘削時期
平成23年4月～平成23年7月

- ②掘削方法
掘削リグ（掘削機械）を使用して、目的地層深度約1,200mまで掘削（垂直井）を行います。

- ③調査内容
今回の調査井追加掘削では、深度約1,100m付近の貯留層（砂礫岩層）および遮蔽層（泥質岩層）のコア試料を採取します。コア試料の分析により貯留層と遮蔽層の詳細な評価のための地質データを取得します。



位置図



掘削リグのイメージ

- (3) 調査スケジュール

苫小牧CCS-2 工程案

	日数	平成23年度											
		4月			5月			6月			7月		
		10	20	30	10	20	31	10	20	30	10	20	31
敷地工事	5	■											
準備・設置工事	18	■											
掘削工事	52				■								
廃坑、倒管	5							■					
解体・撤去	12										■		
敷地復旧	3										■		
合計	95												

- (4) 掘削後の調査井の取り扱い
坑内をセメントで完全に埋め立てて廃坑します。